

# Waca.p

和歌山県文化情報誌  
ワカピー

Vol.109



特集～きのくに文化月間について……	2
和歌山で逢いましょう……………	3
イベントスケジュール……………	4・5
和歌山県名匠表彰・文化表彰受賞者…	6
感動発見！文化の「扉」……………	7
ピックアップインフォメーション……	8

国民文化祭の  
気運を受け継ぐ

# きのくに文化月間

令和5年11月1日(水)～11月30日(木)

## 多彩な連携事業 文化の継承・発展を目指す

毎年11月は、美術、音楽、演劇、伝統芸能など、様々な催しが集中的に実施される「きのくに文化月間」。これは、一昨年の「紀の国わかやま文化祭2021(国民文化祭)」でわき起こった“文化の気運”をさらに盛り上げ、継続的なものにするための取り組みで、障害のある方や次世代を担う青少年に向け、文化芸術活動への参加を促す意味も込めています。この機会に各地へ足を運び、和歌山の文化芸術にふれてみませんか。



昨年の「きのくに文化月間創設記念イベント」で表彰を授与されるジュニア文化表彰受賞者

### 障害の有無超えた作品展

きのくに文化月間では、今年も県内各地で様々な連携事業が実施されます。このうち、社会福祉法人和歌山県福祉事業団(西牟婁郡上富田町)は、11月3日(金・祝)～12月26日(火)ま



作者の魂と、見る人の魂がでる「Art in 和歌山」(写真は昨年の様子)

で、御坊市のぎやらりーなかがわで「第9回Art in 和歌山 魂のであうところ」を開催します。

県内在住の、主に障害のある方々が制作した、絵画や造形など100点以上を展示。個性あふれる唯一無二の表現は、見る者にエネルギーや安らぎを与え、一人ひとりの世界観に引き込まれるはずです。

“障害の有無を超えた自由で独自の表現との出会いの場”となるよう企画しました。「誰もが互いに人格と個性を尊重し、支え合い、多様な在り方を認め合える『共生社会の実現』につながっていくことを目指しています」と、同法人の廣井達也さん。

「芸術活動は、作者に自信や生きる喜びを与えてくれます。作品との出会いを通じ、素晴らしい表現者たちの存在をより多くの人に知っていただければ」と話しています。

会場のぎやらりーなかがわは、かつて「日高御殿」と呼ばれた歴史的建造物。重厚ながら繊細な昭和初期の佇まいも見どころの一つです。ゆったりとした時間が流れる展示空間に身を置いて、作者からのメッセージに耳を澄ましてみませんか。

... ..

すべての連携事業を掲載したパンフレットは、右のQRコードからダウンロードできます。



### きのくに文化月間ジュニア文化表彰式

- 日時 令和5年11月18日(土)13:00～
- 会場 紀南文化会館小ホール(和歌山県田辺市新屋敷町1番地)
- 内容 【第1部】表彰式

ジュニア文化表彰式・受賞者による発表  
【第2部】和歌山県文化表彰受賞記念公演  
令和4年度文化奨励賞受賞者による公演

出演者

寺下真理子 氏(ヴァイオリニスト)  
伴奏: 上野絵理子 氏(ピアニスト)

冷水乃栄流 氏(作曲家)  
演奏: 森 梓紗 氏(箏奏者)  
和歌山県立橋本高等学校邦楽部

寺下真理子 氏



東京藝術大学音楽学部器楽科卒業後、ブリュッセル王立音楽院修士課程を修了。第2回東京音楽コンクール弦楽器部門第2位(ヴァイオリン最高位)など受賞歴多数。令和4年度和歌山県文化奨励賞受賞。

冷水乃栄流 氏



東京藝術大学音楽学部作曲科卒業後、同大修士課程を修了。第89回日本音楽コンクール作曲部門(オーケストラ)第2位など受賞歴多数。令和4年度和歌山県文化奨励賞受賞。

同時開催 ジュニア文化表彰の受賞作品を、紀南文化会館小ホールロビーに展示します

観覧募集  
どなたでも  
ご応募  
いただけます

- 期 間: 11月2日(木)まで受付中
- 定 員: 400名
- 入場料: 無 料
- 申込先: (株)テレビ和歌山





# 和歌山

wakayama

## で逢いましょう

12月17日⑧、田辺市・紀南文化会館で「千住真理子ヴァイオリン・リサイタル」が開催されます。おなじみの曲が名器デュランティで演奏される、とびきり贅沢なステージです。公演にかけの想いを聞きました。



©Kiyotaka Saito (SCOPE)

## おなじみの曲を 聴く人のハートに触れる デュランティの音色で

ヴァイオリニスト 千住 真理子  
SENJU MARIKO

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝し、レウカディア賞受賞。バガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。講演会やラジオのパーソナリティ、文筆活動など、多岐にわたり活躍。チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

■千住真理子オフィシャル・ホームページ <https://marikosenju.com/>

—— タイトルが「名曲で綴る至福の時間」。おなじみの曲が顔を揃えています。リサイタルの聴きどころ、楽しみどころを教えてください。

12月も後半にさしかかった17日、皆さまにリラックスしながら楽しんで頂ければと、クリスマスを意識したプログラムを考えました。

『G線上のアリア』や『アヴェ・マリア』は、しっかりとしながら気持ち洗われるようなバツハのメロディ。『ザ・クリスマス・ソング』は、兄・千住明がオーケストラのために編曲したものを、山洞智のピアノ伴奏でお送りします。また、懐かしさとともに、私たちの心に温もりを与えてくれる『故郷』や『この道』といった日本の歌も。このほか、あの曲もこの曲も…ご存知の曲ばかりです！

—— ストラディヴァリウスの中でも最高傑作のひとつ「デュランティ」を手にしての演奏会です。このヴァイオリンの魅力をお聞かせください。

デュランティの音色を初めてお聴きになると、皆さま驚かれるようです。「ヴァイオリンという楽器のイメージが変わった」とか「声のようだ」とか。クラシック音楽は、ヴァイオリンもピアノもスピーカーを使わず、全てが“生音”のため、身体の五感が空気の振動によって満たされるのです。聴いて

くださる方のハートに触れる音色が出せるように、心を込めてこのデュランティを奏でます。

—— 和歌山では今年6月、豪雨による水害で、多くの方が被害を受けました。東日本大震災被災地支援にも取り組まれる千住さんが、音楽を通じて伝えたいことをお教えてください。

被害を受けた方々、大変な思いをされた方々に心からお見舞いを申し上げます。そして、皆さまのお気持ちに寄り添えるよう、お心が癒えるよう、丁寧な音楽をお届けしたいと、気持ちを引き締めております。

—— 一年を締めくくるリサイタルに、和歌山のファンの期待が高まります。Waca.p読者に、新しい年に向けたメッセージをお寄せください。

このコンサートが終わると、また一步、新しい年に向かって歩みが進みますね！ 名曲の数々をお聴きになりながら、この一年を振り返って頂ければとてもうれしいです。そして希望のある年が訪れるようにと、ヴァイオリンの響きに願いをのせながら演奏したいと思います。



©Kiyotaka Saito (SCOPE)

12/17⑧

～名曲で綴る 至福の時間～  
千住真理子 ヴァイオリン・リサイタル

チケット好評発売中

※詳細は4-5ページをご覧ください

10月

## 令和5年度優秀映画推進事業「名作シネマシアター」

10月11日(水) 上映10:30~18:00

和歌山県民文化会館 大ホール

上映作品:「にぎりえ」(10:30~12:40)

「純愛物語」(13:20~15:30)

「細雪」(15:40~18:00)

前売400円(当日450円) ※全席自由



にぎりえ



細雪

[好評発売中]

10月

## 「おかあさんといっしょ」ファンターネ! がやってきた

10月29日(日) 開演①13:00 ②15:30

和歌山県民文化会館 大ホール

3,000円 ※全席指定 ※1歳以上有料、1歳未満のお子様は保護者1名につき1名までひざ上無料

[好評発売中]



©NHK

11月

## 第51回 和歌山県新人演奏会

11月12日(日) 開演13:30

和歌山県民文化会館 大ホール

1,000円 高校生以下無料 ※全席自由(未就学児入場不可)

[ヴァイオリン]  
①中村真璃彩[ピアノ]  
②岡本美月[ピアノ]  
③松山奈央[ピアノ]  
④反保沙季[声楽(ソプラノ)]  
⑤田代澁実[ピアノ]  
⑥千賀雅[フルート]  
⑦丸山真衣[ピアノ]  
⑧倉田葉名[声楽(ソプラノ)]  
⑨八久保智子[ピアノ]  
⑩中百た[ピアノ]  
⑪富岡菜乃子[クラリネット]  
⑫桐生真太郎[ピアノ]  
⑬岩橋杏奈[声楽(ソプラノ)]  
⑭谷口奈々恵[ピアノ]  
⑮堤瑞(①~⑮  
出演順)11月  
12月

## 和歌山県出身アーティスト「とっておきの演奏会」

## わかふるコンサート2023(全6回 各回出演5団体)

4 和歌山県動物愛護センター 11月18日(土) 開演13:30 定員なし

5 和歌の浦「県公館」 12月10日(日) 開演13:30 定員30人[要予約]  
●申込受付/10月17日(火)10:00~

6 白浜「ホテルシーモア」 12月16日(土) 開演14:00 定員なし



12月

## 名曲で綴る 至福の空間

## 千住真理子ヴァイオリン・リサイタル [好評発売中]

12月17日(日) 開演14:00

田辺市・紀南文化会館 小ホール

3,000円 ※全席指定(未就学児入場不可)



3ページに千住真理子さんのスペシャルインタビューを掲載しています。ぜひご覧ください!

千住真理子  
©Kiyotaka Saito (SCOPE)令和6年  
1月

## ウクライナ国立バレエ『ドン・キホーテ』(全3幕) [好評発売中]

令和6年1月12日(金) 開演18:30 和歌山県民文化会館 大ホール

S席9,000円 A席7,000円 B席5,500円 C席4,000円 ※全席指定(未就学児入場不可)







ホームページ



X (旧 Twitter)



Instagram

主催

●和歌山県

●(一財)和歌山県文化振興財団

令和  
6年  
1月

## 南葵音楽文庫寄託記念公演

## 読売日本交響楽団 原田慶太楼×牛田智大

令和6年1月24日(水) 開演19:00

【好評発売中】

和歌山県民文化会館 大ホール

S席5,000円 A席3,500円 ※全席指定(未就学児入場不可) ※団体割引あり



©読売

【演奏曲目】  
 ネイラー : 序曲「徳川頼貞」  
 ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番  
 ドヴォルザーク: 交響曲第9番「新世界より」



【指揮】原田慶太楼  
 ©Claudia Hershner



【ピアノ】牛田智大  
 ©Ariga Terasawa

11月

## 和歌山県が贈る「ほんもののヴァイオリン体験」＜参加者募集＞

11月4日(土) ①13:00(20名) ②15:00(20名) ※各約1時間

和歌山県民文化会館 大ホール

1,500円(5歳～大人まで)



大阪交響楽団 吉岡克典 ©飯島隆



伊藤瑳紀 ©飯島隆

12月

## けんぶん DE 体験教室＜受講者募集＞

12月3日(日)

和歌山県民文化会館 会議室等

※申込時に名前・教室名(番号)・

住所・連絡先・年齢をお伝えください

※複数教室受講可能

※定員になり次第締め切り

●申込受付／

9月15日(金)10:00～

【開催教室】

①誰でも出来る日本舞踊

②三味線を楽しもう

③昔の歌あそびを体験しよう

④ハムちゃんの尺八体験教室

⑤中国二胡入門講座

⑥黒御簾音楽  
(芝居や日本舞踊に使う効果音)⑦親子で楽しむ茶道体験  
～日本文化に親しもう～

⑧初心者俳句教室

⑨こども落語ワークショップ

⑩ケイコのお箏体験教室

⑪中高年から始める  
「らくらくピアノ」

⑫momoヴァイオリン体験教室

⑬フルートであそぼう

⑭クリニカルアート体験  
「クリスマスキャンドルを作ろう!!」⑮手織り体験教室  
卓上織り機でミニマット作り

⑯木版・多色刷り教室

⑰親子で楽しむ音楽体験

⑱健康の為にフラメンコ

⑲ナレーション&朗読  
～ドラマ風(チック)に読もう～

⑳マリンバでクリスマスソングを

令和  
6年  
1月

## 2024パリ五輪新種目BREAKING[ブレイクダンス]ほんもの体験

## ブレイクダンスワークショップ＜参加者募集＞

令和6年1月28日(日)13:30～15:30

紀南文化会館小ホール

講師:モータルコンバット

定員80名

参加料 小・中学生500円、高校生～大人1,000円

●申込受付／10月20日(金)9:00～



RIN



MACCHAN



YOO

令和  
6年  
2月

## けんぶんバックステージツアー＜参加者募集＞

令和6年2月4日(日)13:30～

和歌山県民文化会館 大ホール

定員40名

※小学生の参加は保護者の付き添いが必要

●申込受付／10月13日(金)10:00～

舞台や音響室、照明室  
 など普段見ることがで  
 きないバックステージ  
 をご紹介します。



参加無料

令和  
6年  
3月

## 元「劇団四季」俳優による「はじめてのミュージカル」体験 ＜参加者募集＞

令和6年3月17日(日)13:00～15:00

有田市民会館 紀文ホール

講師:ミュージカルプロ養成スクール ダンスオブハーツ

末谷満(元劇団四季俳優)・山本靖子(元劇団四季俳優)

定員40名 ※小学校高学年から40歳まで ※小学生の参加は保護者の付き添いが必要

●ハガキで参加受付中[10月12日(木)必着]

歌とダンスなど全身を使って表  
 現する総合舞台芸術と言われる  
 ミュージカルのワークショップ。

参加無料



## マヤ起点に心の病と向き合う

医師 **宮西 照夫** さん  
(みやにし てるお)

1948年、美浜町生まれ。日高高校から和歌山県立医科大学へ。学生時代にマヤの地を訪問し、伝統医学の精神科リハビリ技術を学ぶ。73年から医大附属病院に勤務しながら訪問を続け、宗教儀式や洞窟壁画などを日本に紹介。82年から和歌山大学で学生のひきこもり回復に尽力し、グアテマラ内戦被害者支援や、ひきこもり者の居場所作りにも取り組む。和歌山大学名誉教授。

また、グアテマラ内戦のトラウマで心的外傷後ストレス障害になった女性の自立を支援。2012年には紀の川病院にひきこもり専門外来を設置し、その後、美浜町にひきこもり回復支援拠点ヴィダ・リブレを開設しました。

西洋医学以外の治療法をマヤの伝統医学で知り、一貫して心の病からの回復への支援・研究を実践しています。



コロナ・パンデミック時、調査地のマヤ人集落では外出禁止令が発令。65人のマヤの助産師がコロナ予防や治療だけでなく食料等を配って回りました。その時に助産師が用いた薬草を調査する宮西照夫さん(右端)

医大生時代に読んだDHローレンスの小説でマヤにひかれました。1971年に「マヤ文明滅亡の謎を知りたい」とメキシコへ向かい、密林に住むマヤの末裔ラカンドン族と約1カ月生活。以来、幾度となく訪れ、宗教儀式や病気の治療法を学ぶと共に、マヤ文明を日本に紹介してきました。

中でも、精神科医として現地で統合失調症の治療に触れ、マヤ伝統医学が「心の病に関し高い精神科リハビリ技術と、幻覚キノコなどから作る薬を持っている」ことに驚き、「文化と心の病」をテーマに研究を続けました。

日本では、82年に県立医科大学附属病院から和歌山大学保健管理センターに移り、当時増えていたひきこもりに着目。大学内に、悩みを語り合う場としてアミーゴの部屋を開設し、回復支援の手法を体系立てて行きました。

## 和歌山県文化表彰受賞者

和歌山県文化表彰とは、文化の向上・発展に特に顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



## デザイン通じ希望を届ける

グラフィックデザイナー **岩田 直樹** さん  
(いわた なおき)

1995年、紀の川市生まれ。生まれつき聴覚障害があり、ほとんど音を聞くことができない。和歌山ろう学校から、茨城にある全国唯一の視覚・聴覚障害者向け四年制大学の筑波技術大学総合デザイン学科に進学、チラシやポスターなどグラフィック関係学ぶ。デザイン会社に就職後、フリーデザイナーとしても活動する中で、紀の川市からの依頼を受け、故郷とのつながりを深めている。

意図や状況を把握しています。お客さん自身が言い表しにくい要望も、しっかり言語化するのが得意です」とにっこり。受賞については、「初めは僕がもらっていいのかと困惑しましたが、同じ障害をもつ人たちの希望になればと考えました。今後はデザインスキルを上げつつ、聴覚障害への理解を深めてもらえるような活動がしたい」と熱を込めます。



紀の川はっさくエールのラベルは、岩田さんが考案した3つのデザインの中から市民アンケートを採って選ばれました。「ふるさとの方々と一緒になって、ひとつの物を作り上げた感じがうれしかったです」と喜んでます。

中学2年のころ、自分の携帯電話のデザインがお気に入り、で、「だれが作ったんだろう」と調べたことでデザイナーという仕事を知り、憧れを抱きます。

茨城の大学で学び、デザイン会社に就職する傍ら、フリーランスとしても活動。2021年に制定された「デジタルの日」のロゴ制作で注目を浴びます。また、紀の川市内を走る地域巡回バスのラッピングや、特産品を使ったクラフトビール、紀の川はっさくエールのラベルを担当しました。「意識するのは、意味を込める、こと。エールは、他の商品より目立つように、また、柑きつ系のイメージを出すため黄色を基調とし、はっさくのイラストをちりばめました」

聴覚障害について、「打ち合わせでのコミュニケーションに不安はありますが、小さいころから相手の表情を見て、



# 感動発見！文化の「扉」

和歌山を拠点に、文化・芸術活動に取り組む団体をご紹介します。  
知る、まなぶ、体験する場に、加わってみませんか。

## 書道

### ぼくゆうしゃ 木悠社

#### 形と配置こだわり 連ねる 56 文字

和歌山市に本部を置く書道団体の全国組織、青潮書道会。同会の井上木洲さんが、会員の書技向上と親睦のために立ち上げたのが木悠社です。1998年から谷口和光さんが継承。日本書芸院展や読売書法展、県展、和歌山市展などへの出品に向け作品制作に取り組む会員を月2回、県民文化会館で指導しています。

行草書を字間を切らずに連ねる行草連綿体で、56文字の漢詩文をしたためます。「字の崩し方を覚えてもらうため、筆づかいや筆先を見せる」と、目の前で手本を書くことにこだわります。字形を書の古典から選出し、どの形の文字を配置し組み合わせるかで印象が大きく変わることから、「1+1=2のように答えが1つで終わらない所が面白い」と魅力を語ります。

代表  
谷口和光さん  
Profile

紀の川市出身。書道教育の発展に尽くした和歌山市出身の天石東村氏に25歳から師事し、行草連綿体を学びます。兄弟子の井上木洲が立ち上げた木悠社を受け継ぎ、1998年代表就任。日展会友、青潮書道会副理事長、和歌山県展の審査員などを務めています。



谷口和光「白楽天詩一首」



会員の作品に手本を書き入れる谷口さん

#### 作品と制作の特徴

題材は唐時代の「唐詩選」にある56文字の詩文。縦224×幅53㍉の色画仙紙に、行草連綿体で書きます。イメージを左右する紙色も重要。蠟箋(ろうせん)という表面に蝋を塗ったすべりやすい紙には、つやがあり墨色の良い紅花墨を活用しています。

## 語学

### ハングルちんぐ

#### 友だちの輪広げる韓国語講座

「韓国ドラマを字幕なしで楽しみたい」「韓国に留学したい」などの目標を持った20歳～70歳代の約50人が通う「ハングルちんぐ」。「ちんぐ」は「友だち」という意味の韓国語で、「친구」と書きます。

講座は、ワークブックを使った練習だけでなく、絵本に載っている単語や、韓国と日本の文化の違いも学びます。また、作文をスマホで共有し、互いに質問することで自然に会話が生まれ、言葉が身につきよう工夫しています。「座学だけでなく時には教室を飛び出し、カフェで韓国語だけのティータイムや、韓国料理を作ったりしています。お互いの国がさらに理解を深められるよう、コロナで休んでいたスピーチ大会や歌、紙芝居なども再開させたい」と講師のイチョンファさん。和やかな雰囲気の中、語学をマスターできると好評の講座です。

講師  
イチョンファさん  
Profile

1962年釜山近くの馬山生まれ。1991年、結婚を機に和歌山へ。自宅で始めた韓国語レッスンが人気を集め、生徒が増えたことから本格的に講座を開講。県民文化会館や打田生涯学習センターなどを会場に、幅広い層に楽しく韓国語を教えています。



発音や意味など、分かりやすく丁寧に指導(円内はイさん)



韓国の絵本も教材に使います

#### 生徒募集中

楽しく韓国語を学びませんか？ 県民文化会館クラス＝毎週火曜午後6時～、7時30分～。打田生涯学習センタークラス＝第1、3金曜午後1時～、2時～、3時～。各1時間。マンツーマンやオンラインでのレッスンも応相談。☎イさん☎090-9288-6090。

## 県文会議室

午前、午後、夜間いつでも

**1,000円**

文化教室や  
会議、面接、  
勉強会で  
大人気!!

全室、有線 LAN  
フリーWi-Fi(無料)

サービス実施中!  
※18名会議室12室対象

## 県文展示室

みんなの作品で街を元気にしよう!  
展示室15%値下

**1週間**

利用で

約 **4万円** [1日約5,700円]

※展示室全4室対象/上記は特設展示室の料金



約500台収容の駐車場あり / 40分100円 / 24時間料金600円

# ピックアップインフォメーション

## 片男波公園＜万葉館＞

### 「万葉押し花展～永遠の素敵な花たち」 +特別展示「牧野富太郎博士の植物標本」

10月19日(木)～2024年1月8日(月・祝)

【特別展示は12月16日(土)から】

9:00～17:00 ※最終日は15:00まで

万葉集に詠まれた花から現代の花までを押し花にし、自由に表現した作品約30点を展示します。特別展示は、NHK連続テレビ小説「らんまん」主人公のモデルとなった牧野富太郎博士の植物標本4点です。



「鶴(たづ)鳴き渡る」鈴木真澄

和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎073-446-5553 9:00～17:00(入館16:30まで)  
※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤入館無料

## 和歌山県立博物館

### 生誕850年記念特別展「紀州・明恵上人伝」

10月14日(土)～11月26日(日)

承安3年、有田郡で生まれた明恵上人。青年の頃は紀州で修行を重ね、京都の高山寺を再興した高僧として知られます。特別展では、ルーツである湯浅一族の記録や文化財を通じ、紀州の明恵上人像を紐解きます。



明恵上人伝 (仏涅槃図 浄教寺蔵)

### 企画展「高野山寺領の村」

12月16日(土)～2024年2月12日(月・祝)

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670 9:30～17:00(入館16:30まで) ⑥月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、展示期間(10/2～10/13、11/27～12/4)、年末年始(12/29～1/3)  
⑦特別展/一般830円(団体680円)、大学生520円(団体410円) 企画展/一般280円(230円)、大学生170円(140円) ※無料=高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生(団体は有料。入館者が20名以上の場合)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

## 和歌山県立紀伊風土記の丘

### 秋期特別展「律令国家成立前夜」 9月30日(土)～12月3日(日)

6世紀から7世紀における紀伊と大和の古墳や古代寺院の出土品などを通じて、律令国家成立直前における紀伊と大和のかかわりを紹介します。



上野廣寺跡(和歌山市) 軒丸瓦・軒平瓦

### 秋期特別展「関連講座」全3回

①10月15日(日)・②10月22日(日)・③11月19日(日)  
各13:30～

■費用:資料代+入館料 ■対象:小学生以上 ■定員60人  
■申込:電話受付のみ(①9/29・②10/6・③11/10 各13:00～、先着順)

和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123 9:00～16:30(入館16:00まで) ⑥月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑦特別展/一般360円(290円)、大学生220円(160円)  
※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)

## 和歌山県立近代美術館

### 特別事業「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」 9月30日(土)～11月30日(木)

和歌山県人会世界大会記念特別事業として、移民という立場で多くの人々が海を渡った和歌山県の歴史を背景に、アメリカ西海岸で美術を志した人々の足跡を追います。



原勝四郎(画工像)1932年 和歌山県立近代美術館蔵

### 特別展「原勝四郎展」

10月7日(土)～12月3日(日)

生まれ故郷の田辺や白浜など身近な風景を描き続けた洋画家、原勝四郎の生涯を、各時代の主要な作品を集めて紹介します。

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690 9:30～17:00(入館16:30まで) ⑥月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑦特別事業or特別展/一般800円(640円)、大学生500円(400円) ※特別事業・特別展両方観覧の場合、一般1,000円(800円)、大学生600円(500円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

## 和歌山県立自然博物館

### 講演会「野生動物の死体が教えてくれること」

11月3日(金・祝) 10:00～12:00

酪農学園大学の浅川満彦教授が、野生動物の剖検や治療、また、野生動物と人間のかかわり方など、実体験をもとに、野生動物保護の最前線の情報を分かりやすく解説します。



■開催場所:和歌山県立自然博物館 レクチャールーム  
■募集対象:小学5年生～一般  
■定員50名 ■費用:入館料のみ  
■申込方法:電話受付のみ(先着順)

海南市船尾370-1 ☎073-483-1777 9:30～17:00(入館16:30まで) ⑥月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑦一般480円(350円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)

## 紀州漆器伝統産業会館 うるわし館

### 日本三大漆器の伝統を体験

海南市の黒江地区を中心に生産される紀州漆器は、日本三大漆器のひとつ。うるわし館では、紀州漆器の代表的技法である蒔絵を施した製品やアクセサリーを展示・販売している他、漆器づくり技術を紹介するビデオを鑑賞できます。土日は漆器蒔絵体験を楽しめます(要予約)。また、11月4日(土)・5日(日)に館周辺で「漆器まつり」が開催されます。詳しくは同館HP(<https://www.kishusikki.com/>)。



海南市船尾222 ☎073-482-0322 10:00～16:30 ⑥お盆・年末年始  
⑦無料(蒔絵体験は別途料金) ⑧有(大型バス3台、乗用車5台【無料】)

## けんぶん友の会のご案内

### うれしい会員特典

- ☆入会金・年会費「無料」
- ☆主催公演チケットの優先予約
- ☆会館プレイガイド取扱チケットの電話予約
- ☆文化情報の発送(年4回)



その他特典も!詳しくはお問い合わせください。

問合せ

和歌山県民文化会館友の会事務局  
〒640-8269 和歌山市小松原通 1-1  
☎073-436-1331



※本冊子掲載の情報は令和5年9月8日現在のものです。以降、日程変更や中止等の場合がありますので、お出かけの際はあらかじめ施設・主催者等に直接お問い合わせください。

＊――＊  
表紙のひと  
＊――＊



西洋古楽研究家、演奏家 南部 紗奏乎さん  
NANBU TAEKO

相愛大学音楽学部卒業、研究科修了。「古楽」と呼ばれるバロック時代の音楽に魅了され、研鑽を積む。2009年、第37回和歌山県新人演奏会に初の古楽器奏者として出演。12年、福岡古楽音楽祭で、ジグスワルト・K氏(バロック・ヴァイオリン)とヴィーラント・K氏(ヴィオラ・ダ・ガンバ)の公開レッスン受講。19年、リサイタル「古楽に魅せられて」が成功を博す。20年、和歌山で先駆けとなる配信型リトミックコンサート開催。ベータン音楽コンクールをはじめ、指導者賞を多数受賞。日本クラシックコンクール審査員。

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts Power

発行/和歌山県

編集・問い合わせ/一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ)

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

ホームページアドレス/<http://www.wacaf.or.jp>

2023年

10・11・12月号

令和5年10月発行 Vol.109

Waca.p